

紀宝町 議会だより

第 34 号

平成27年9月1日 発行



青少年育成町民会議 地域ふれあい合宿

議 会 日 誌

平成27年4月～6月

- | | | | |
|--------|---|-------|---|
| 4月 10日 | 成川防災備蓄倉庫竣工式
地方創生まちづくり特別委員会
近畿自動車道紀勢線建設特別委員会
熊野川流域対策特別委員会 | 28日 | 紀南環境衛生施設事務組合議会臨時会（新宮市） |
| 28日 | 南牟婁郡交通安全対策協議会委員会（御浜町） | 29日 | 全員協議会 |
| 5月 1日 | 第86回紀南地区メーデー（熊野市） | 31日 | 鵜殿高潮堤完成記念式典、県道小船紀宝線開通記念式典 |
| 9日 | 大紀町合併10周年記念式典（大紀町） | 6月 1日 | 近畿自動車道紀勢線（熊野市～新宮市間）建設促進期成同盟会通常総会（紀宝町） |
| 11日 | 三重県町村議会議長会理事会及び県施策説明会（津市） | 2日 | 熊野川河口大橋建設促進議員連盟理事会及び総会（紀宝町） |
| 12日 | 議会運営委員会 | 3日 | 環境保全対策特別委員会
熊野川河口に橋を架ける会理事会及び総会（新宮市） |
| 13日 | 国道169号線改良促進連絡協議会通常総会（熊野市）
熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会通常総会（熊野市） | 4日 | 熊野川流域対策連合会理事会及び定期総会（新宮市） |
| 18日 | 紀宝地区交通安全大会
議会改革講演会及び第1回市町議会の在り方に関する研究会（津市） | 7日 | 新宮紀宝道路中心杭打設式 |
| 19日 | 地方創生関連講演会（津市） | 8日 | 2015年原水爆禁止国民平和実行大会
議会運営委員会 |
| 22日 | 第1回新議員研修会（津市） | 11日 | 交通安全対策協議会（紀宝町） |
| 25日 | 三重県後期高齢者医療広域連合議会臨時会（津市） | 16日 | 第2回定例会 第1日目 |
| 26日 | 町村議会議長・副議長研修会（東京）[27日まで] | 17日 | 第2回定例会 第2日目 |
| | | 30日 | 熊野川改修促進期成同盟会理事会及び総会（新宮市） |

6月定例会 一般質問 (要約)

平成27年第2回紀宝町議会定例会は6月16日に開会しました。
第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、次いで、町長から、第1回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の17日にわたり5人の議員が、質問に立ち、諸課題について、当局の取り組みと考え方を質しました。引き続き、議案審議に入り、農業委員会委員の推薦、専決処分承認(2件)、平成27年度一般会計補正予算を可決し閉会しました。

議員



原 章三 議員

・介護保険事業計画について
・マイナンバー制度について
・浅里地区町民バスについて
・大里トンネル照明について

介護保険事業計画

昨年6月、可決された医療介護総合法によって介護保険制度が導入されてから今年で15年目になりますが今回の改定は過去最悪の改定内容となっています。「保険あつて介護なし」社会保障を自助、互助、共助に変質させるものとなっています。今日、国民が一番望んでいるのが社会保障の充実であると世論調査で示されています。要支援1・2の人を通所介護と訪問介護から外す。NPOやボランティアにサービスを提供させるとなっていますが地域で

できるのですか。

健康福祉担当理事

訪問介護、通所介護が地域包括支援事業に移されます。現在来年10月をめどに進めています。事業所からすれば介護報酬が減ることにより今まで通りの運営がむづかしいと認識しています。ボランティアの支援も受けられるよう努めてまいります。

議員

今回の料金改定で大幅な値上げとなり、65歳以上が負担する保険料、全国平均が5,514円管内では737円値上げで6,192

円となっています。厚労省の試算では5年後は6,771円、10年後は8,160円になるといわれています。今後管内でもどのような推移していくのですか。

健康福祉担当理事

高齢者の人口に比例して給付も伸び、管内でも保険料が増加していくと考えます。

議員

国保の値上げ、消費税増税、年金削減、電気代アップと次々と値上げされているわけですが、利用料についても負担割合が1割から2割になる。施設の入所、

マイナンバー制度

議員

2013年成立したこの制度、当初は税、社会保障、災害対策等が利用対象であったが今国会ではメタボ検診、銀行預金口座にも拡大する中身で審議されています。自治体にも義務づけられ事業所では従業員、配偶者、扶養家族の番号、給与、社会保険料の天引きなどを申告しなければならぬため専門家を確保しなければならぬなど大きな負担となる。今後どのように周知していくのですか。

税務住民課長

10月から住民票を有する一人ひとりの個人番号を記載した通知カードが郵送されます。また希望者には身分証明書、e-TAXなどが利用できる「個人番号カード」が28年1月から交付されます。周知については広報、自治会回覧、電話等でおこなっていきたい。

議員

今国会で審議中の改正案

浅里地区町民バス路線

議員

浅里地区住民から浅里発紀南病院行、紀宝町役場行のバスと桐原発新宮行バスの乗り継ぎの利便性をはかってほしい。接点である鮎田バス停では僅か5分の差で乗り継ぎが出来ない。こういった声が寄せられています。今後高齢化社会が進む中で交通弱者が増え町民バスを利用せざるを得ないひとが増えます。改善を図っていただきたい。

企画調整課長

平成22年にダイヤ改正し特別問題点もなかったのが今日まできたところです。過去4、5年でダイヤ改正もしているのが今回意見もいただきましたので検討してまいりたいと考えます。

大里トンネル照明

議員

大里トンネルは近年交通量も多く4、5月には3件の事故が発生している。また高校生の自転車通学路として利用されており照明をせめて桐原新トンネル並に明るくしてほしいとの声があります。今後どのような計画ですか。

産業基盤整備担当理事

現在交通安全対策として、すべての水銀灯115基設置され全灯運用しております。今年度は調光器の取り替え工事も7月ごろ予定と伺っております。また引き続き安全対策、保全管理の徹底について要望していきたいと考えております。

議員

お年寄りの命を守る若い人の命を守るためにも照明対策を行っていただきたい。

※この他に、「狩猟税について」の質問がありました。

中曽川改修工事

議員

平成23年から開始した鶴殿中曽川の改修工事について、現在の工事の進捗状況と計画について伺います。

産業基盤整備担当理事

三重県において、当該浸水地域の浸水実績も考慮した中曽川排水路のコレゲートパイプ補修補強工事を進めていただいております。現時点では、国道42号から下流側延長110mの区間が平成27年6

ショートステイの食費、部屋代の補助、などが8月から値上げされます。給付は減らし、タンス預金も持つていかれる。低所得者にとって丸裸にされるわけです。さらに若年層の人口減少で介護事業そのものが成り立っていくのか、どうですか。

健康福祉担当理事

2025年、団塊世代が後期高齢者に突入する時期、医療費、社会保障費が増えることもあり、また医師不足で介護サービスが受けられない、こういった状況は避けていかなければならない。そのため広域では医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供できる体制づくりをおこなっていくところですよ。

議員

現在公費の給付費負担が国、県、市町村が50%であり残り50%は65歳以上が22%40歳から64歳までが28%の負担となっています。国による公費負担を増やすことが一番と考えます。



榎本 健治 議員

・中曽川改修工事について
・障害者総合支援法について

月に完成。中曽川最下流部マ

イターゲートから上流側へボ
ックスカルバート、延長16 m
につきまして、平成25年7
月に完成。今年度の予定とし
ては、平成27年6月に完成し
た箇所から下流側へ約40 mの
補強、補修工事を平成27年10
月頃の発注を予定している。
全体の延長から残りの約34 m
の区間についても、早期完成
に向けて、三重県へ強い要望
を行っている所でございます。

議員

次に町管轄部分の改修計画
をお伺いします。残りの34 m
部分が28年度に発注されると
思います、その後の町管轄
部分、つまり中曽川からJR
を通して警察署の下を通る部
分についての改修計画をお尋
ねいたします。

産業基盤整備担当理事

町管轄部分の改修計画につ
きましては、国道42号から上
流側へ延長37・4 m紀宝警察
署の下部分ですが、直径2・
5 mのコルゲートパイプの補
修補強が必要としておりま
す。現在、三重県が計画して
いる補修補強工事が完成次
第、速やかに町管轄部分の事

業も進めてまいりたいと考え
ております。

議員

次に津波対策で、港側に隣
接しているマイターゲート
は、度々故障して台風でピン
が外れ、マイターゲートの機
能が損なわれる事態もあつた
ということ、最終的に海に
面しているマイターゲートの
部分を、例えばダブルマイタ
ーゲートにするであるとか、
または遠隔操作が可能なら、
いわゆる遮断できる、開閉でき
るシステムの導入を強く要望
していただきたい。

町長

ご指摘のとおり故障もこれ
までも多いということ、二
重構造も踏まえて、しっかりと
と三重県に要望していきたい
と思っています。

議員

法寿坊地区、そして中曽地
区、230世帯。そして55
0名が暮らされ海拔も低い地
区なので、津波対策を今後し
っかりと仕上げ完成してい
たきたい。

障害者総合支援法

議員

施行の趣旨と就労移行支援
の経過措置についてお尋ねを
いたします。

健康福祉担当理事

趣旨につきましては、共生
社会の実現と社会参加の機会
の確保。社会的障壁をなくす
というのが趣旨でございます。
それから就労移行支援事業
につきましては、一般就労
を希望する方に必要な知識等
を行うところ。それから一般
就労が可能かどうかアセスメ
ントを行うところ。施行猶予
期間は27年3月まで。

議員

就労移行支援で、くろしお
学園を卒業した子ども達って
いうのは、今まではB型事業
へ直接移行することができま
したが、法改正で就労判定を
したり、就労訓練をしてから
ではないと、そこで働くこと
はできないと変わりました。
27年3月ということは、平成
26年度の末で期限は過ぎてい
るというような認識でよい
か。

健康福祉担当理事

はい、その通りでございま
す。

議員

これは大きな問題であって、
卒業生の行き場がないという
現状であり、今後、町として
どのように考えていくのか。

健康福祉担当理事

28年の4月1日から一般就
労目指す方には、きちっと評
価ができるように、今年度、
早いうちに、この自立支援協
議会から、変わる就労移行支
援事業等を圏域で立ち上げて
まいりたいと、考えてます。

議員

27年4月1日からは新たな
制度で、その受け皿がこの紀
南圏域ではない。熊野市・御
浜町同様にも卒業生がいる中
で、紀南圏域全体で早急に立
ち上げていかなければいけな
い大きな課題だというふう
に思っております。

町長

今議員ご指摘のような状況
です、紀南地域において
は、3市町のなかで併せて今
後どう対応していくか、十分
協議を重ねていく必要がある
と思っております。

議員

次に障がい者福祉計画のな
かでは、平成29年度までに3
床のグループホームの開所を
目指すと記載されています
が、今後どのように取り組ん
でいくのか。

健康福祉担当理事

障がい者福祉計画のグルー
プホームの関係の計画でござ
います。これは町というより
も圏域の障がい者計画になろ
うかと思えます。議員ご指摘
のとおり、3床でございま
す。増やす計画となっております。
これについてはできるだ
け、社会福祉法人を中心に、
いろいろとこういった計画に
についてのご理解をいただい
て、そういったところに呼び
かけながら、できましたらこ
の圏域でつくってまいりたい
と、そのように考えていま
す。

議員

グループホームで、提案で
すけども、県が総合文化セン
ターのなかで運営しているc
ottier菜という和食の中心
とした働くカフェを県がオー
プンしたわけでございます
が、ここを運営している社会
福祉法人、朋友さんは空きア
パートを活用したグループホ

つていただかなければいけな
い。

議長

公正な立場で言ってるので
す。平野議員の意見は答弁さ
せますが暫時休憩します。
〈暫時休憩〉

議長

再会いたします。傍聴の方に
申し上げます。静粛にお願い
致します。なお議長の指示に
従わない場合は、退場を命じ
ることもありますので、議事
進行に協力お願いします。

議員

今までいろんなことを申し
上げましたが、このルートお
かしんじやないかと思ってい
るので、ルート変更をお願い
したいんです。その前にこの
地域住民が町長ときちんとお
話したことがないんでねお互
いに理解しあつたことない
という状況なので、時間をもう
けていただきましてお話し合
いをしていただきたいと思い
ます。

町長

国土交通省が事業主体でござ
いますので、国土交通省で
説明等させていただいている
状況です。道路の用地として
提供いただく方、今のままで

議員
7月1日・3日に説明を受
けましたけれども、どの会場
でも地域住民が説明を受けた
だけで理解するには至らな
い。住民にどのようにアクセ
スされたのか。3月21日に3
組の方とお話された。その
後、6月7日に「まなびの郷」
でたくさんのお客さんを招い
て中心杭の打設式を開きまし
た。どのような方がお集まり
なのかわかりませんが、「平

新宮紀宝道路

平野 美津子 議員
・新宮紀宝道路について



野美津子」に式典のご案内を
いただいたので、すぐに国交
省へ「なにも説明しないで、
式典をするのですか」と言っ
た。役場にも「住民さんの意
向も考えてやってください」
とお願ひした。昨年の9月議
会では、町長も住民に対して
は、「丁寧に説明して理解し
ていただく必要がある」とお
っしゃいました。国交省に対
して要望があつてもぶつけて
いくという状況にはならな
い。町長は町の統括責任者
として住民の意向をきちんと
汲み取っていただくことがな
かつたとおもいますが。

〈中略〉

今、声が上がっているのは、
は、鶴殿地域3平方キロです
が神社、お寺のすぐ前を通
つて後の山の間に入ってしま
います。その近辺家屋もその
うになります。地域の皆さん
も本線にかかると、アクセス
にかかると、それには応じ
ない方がたくさんいらつし
やいます。また残される方に
対しまして、すぐ自分の住
宅です。今計画されている道
路はそういった方達の意見を
聞いていただきましたか。

議長

楽しく、笑顔になれるような政策、事業で無ければならないと思います。

町長

紀宝町においても、2040年には、人口が66％位に予測され、若年女性も、2010年に比べて56％くらいに減っていくと推計されています。しっかりと危機感を持って取組を進めたいと思います。私どもが町民が明るく元気に、子育てもしやすく、健康で過ごせる住みよい町をつくっていく事が一番の原点と思っています。この地域はインフラ整備が進んでいません。インフラ整備を整えることが一番の活性化の原点になると思います。

議員

紀宝町は「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」を将来像としています。ここで謳われている資源を存分に活用し取り入れた政策が「地方創生」に繋がると思っております。理由として経済産業省が最近、2030年の電源構成比率を原発「20％22％」を提示し、再生可能エネルギーの比率を「22％24％」とし、今後再生可能

議員

今後、高齢者人口の比率が大きくなると思いますが、要介護者・要介護者の現状と今後の推移について伺います。

健康福祉担当理事

本町における高齢者の要支援、要介護者の認定は、平成26年9月末現在で728人、認定率は19・6％となっています。今後の推移は、要支援・要介護認定者も増え、平成29年度には、要支援・要介護者の割合が高齢者の2割強、751人になると推計しています。

議員

二つ目の質問にも関わりますが、今後高齢化率が高まり、若い世代の方がなくなってきたとき、介護の担い手が不足してくるのではないかと考えています。現在の居宅サービスを担う人員、介護サービス事業者の充足状況について、また今後の見通しについて伺います。

健康福祉担当理事

現状についてですが、若い世代を中心に介護職を目指す方も増えてきているように思いますが、広域管内では少子



的場 孝一 議員

- ・地方創生について
- ・ふるさと納税について

地方創生

議員

「日本創生会議・人口減少問題検討分科会」の推計によると、これから10年から15年、地方から大都市に毎年約6万から8万人が流出し、その結果、2040年に20歳以下39歳人口が2010年の半数に当たる896自治体（50％）が「消滅可能都市」と位置づけ、将来消える可能性を指摘している。なお、自治体の首長さんのアンケートの結

ば仕事はできませんと言っていました。

町長

国交省がどのように考えているか分かりませんが、河口に橋を架けてほしいという要望活動を続けて念願叶って実現に至ったのです。これからですね、この状況に向けて一歩でも二歩でも進んでいけるようにしていきたい。

議員

今、要になっっているのは地域の方たちの話をきちんと聞かずに工事を進めていくことは絶対にできないことだと思います。

※この他に、「土地開発基金について」「グループホームの建設について」の質問がありました。

議員

この道路を早く通すためにはきちんとした話し合いがない限り何時までもギクシャクするんじゃないかと思うんです。町長は国交省のしごだからとおっしゃいますが、国交省へ電話させてもらいました。議会も町長もNOと言え

ご利用いただく方等もございますのでしっかりと意見聞きながら機能回復道路とか地域の皆様方の利便性を損わないようにしていきたいと思っています。

議員

今の町長の答弁では時間を持って話し合いをしていただくということではないですね。時間をもっていただけないということですね。

町長

ルートとかいろんなこの部分について事業主体が国でございまして国の方で議論した上で決定されたものだというふうに思っています。私どももいたしましては、しっかりとその道路整備をしていく上において機能回復どうやっていくんだ。ということにしっかりと取り組んでいきたいというふうに思っています。

たコウノトリと判明したそうです。紀宝町にも熊野川河口付近で何種類かの渡り鳥が餌場を求めて飛来しているのをよく見かけました。野鳥が好む環境を整えることが、町のシンボルとなり観光客の増加に繋がれば良いと思います。環境に優しい町とし全国的に知れ渡れば、色々な変化が起これると思います。もともに関心の高い若い世代に興味を抱かせ、移住して暮らして頂ければ最高です。私は、この地域の地方創生の在り方、スピード感に心配を抱いています。

町長

地方創生会議等において、議論いただければ、ありがたいと思います。これからの将来に向かって再生エネルギーを駆使していくことは、これからの環境に優しい上に、非常に大事な問題とと思っています。私たちが後世に残していく上で、景観を損なわない形で、今後検討していく必要があると思っています。

議員

環境省の「低炭素・環境・自然共生」モデル地域の公募の結果、全国で17地域を選定

ふるさと納税

議員

昨年3月の定例会で質問させていただいたところ、25年度「ふるさと納税」は2件、11万円とのお話でした。その後、「ふるさと納税」パンフレットの作成、紀宝町ホームページへの掲載、「ふるさと納税」応援サイトへの掲載等、PR活動を考案し努力した結果、寄附金が大幅な増額になり、大変ありがたく思っています。リピーターを増やす秘訣は、細やかな対応と礼状を含め、きめ細かなサービスだと思っています。この地域は

介護サービス



浅田 和江 議員

- ・介護サービスについて

果でも「地域が消滅しかねない」「危機感を持っている」と懸念を表している自治体は全国77％にもなっています。紀宝町地方創生会議の進捗についてお聞きします。

企画調整課長

町の人口ビジョンや町の総合戦略を策定するに当たり、委員の選定等を含め調整しています。7月以降、2ヶ月に1回程度開催し、本年12月には最終案を取りまとめる予定です。

議員

国が大都市圏に立地する企業が地方に本社機能を移転する場合に、法人税を優遇する制度を創設しても、私達の町には全く根も葉もない話で、移転してくれる大企業は皆無で恩恵を受ける事もないと思います。「地方創生」事業を成功に導く為には、町長のリーダーシップと決断に、住民が大きな期待を寄せています。紀宝町として県内を始め、全国にインパクトを与えるようなダイナミックな政策を掲げて頂きたいと思っています。住民の理解や信頼が無ければ「地方創生」の事業は進まないと思いますし、住民が

春が早く訪れます。3月から6月の特産品が少ないように思います。是非、春の旬、山菜セットや竹の子の水煮を開発して加えてみては如何でしょうか。収穫するには、お年寄りの力が不可欠です。それらが特産品の一つになれば、生きがいや楽しみにもなり新たな元気も出ます。

税務住民課長

今後、協議をさせて頂きま

業を通して周知に努めてきましたが、昨年7月に行われたアンケートによると、約4割の方が地域包括支援センターについて知らないという結果もありました。この結果を受け止め、周知啓発を行っていくことが大事だと思います。特に高齢者だけでなく、若い世代の方にも周知をして、しっかりと認識していただきたいと考えています。例えば、病院での受付等を活用した周知の方法、商店での集まった場所での周知という意見を参考にしながら、今後の周知に活かしていきたいと考えています。



ンケートでは包括支援センターを知らないという方が40・3%ある一方、困ったときに気軽に相談できる窓口の設置を希望するとの回答が50・8%でした。広報と合わせて、例えば病院や医院に協力していただき、声をかけてもらうとか、商店など人の集まる所にリーフレットなどを掲示してもらうなど、必要なときに情報が得られるような取組を検討していただけないでしょうか。

健康福祉担当理事

地域包括支援センターについては広報紙や町のホームページ、各種団体や地域での事

を希望するという方がたくさんいらっしゃると思いますが、自宅で介護を希望すると回答した方においては、地域密着型サービスのうち小規模多機能型居宅介護を利用したいという結果が上位にありました。住み慣れた自宅での介護を充実させていくためにも、小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの拡充が必要ではないかと考えますが、町としてはどのような取組みや働きかけをお考えですか。

健康福祉担当理事

地域密着型サービスは、特性に応じたサービスを原則住んでいる市町で受けるというものです。これについては「地域密着型サービス運営委員会」において、サービスの質の確保、評価、運営評価についてなど協議されています。

議員

三つ目に地域密着型サービス、特に小規模多機能型居宅介護についてです。地域密着型サービスは今後増加が見込まれる認知症高齢者や中・重症の要介護高齢者等ができる限り住み慣れた地域での生活が継続できるように創設されたサービス体系ということで、南郡熊野地域では1業者となっています。第6期介護保険事業計画に掲載されたアンケートには自宅での介護

所という状況です。今回の介護保険改正によって、小規模な通所介護事業所、デイサービス事業所については少人数で生活圏域に密着したサービスを受けるということになっているので、平成28年4月1日から地域密着型サービスに移行することになります。第6期介護保険事業計画においては、ディサービス以外に、地域密着型サービスの新たな整備計画はまだないのですが、この通所介護の部分については、町内事業所を含め、5事業所ほどが、地域密着型サービスに移行していくといわれています。小規模多機能型は、これから看取り等を含め、重要な役割を担う施設事業所と考えています。第7期計画に向け、幹事会等のもので検討していきたいと考えています。

議員

介護が必要な状態になったら自宅で介護してほしいとよく聞きます。自宅で介護するのと決めたら十分に支えられる状況、選択できる環境を作っていくことが重要だと考えます。最後に包括支援センターの周知について伺います。

次回 平成27年9月15日より開催予定

議会を傍聴してみませんか？

紀宝町をより良い町にするための議論を交わしています。



◆傍聴の手続き

- ① 紀宝町役場庁舎内3階の議会事務局で受付を行ってください。
- ※傍聴席は40席です。
- ② 議場の入退室は、会議中でも自由にできます。

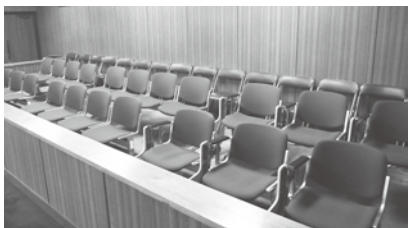
◆注意事項

- ① 言論に対して拍手、その他の方法により可否を表明しないでください。
- ② 飲食または喫煙をしないでください。
- ③ 携帯電話の電源をお切りください。
- ④ 写真、ビデオで撮影したり、録音しないでください。

◆お問い合わせ

紀宝町議会事務局までご連絡ください。

☎0735-330342



議場傍聴席。40席用意しています。



議場の様子



- ◆本議会開催場所
紀宝町役場 3階・議場
- ◆開催予定日時
平成27年9月15日
午前9時より

次回定例会の予定

9月15日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付けています。

議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
 - ② 生涯学習センターまなびの郷
 - ③ 福祉センター（鶴殿）
 - ④ 保健センター（神内）
 - ⑤ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（6月）

- 農業委員会の推薦について
議会推薦の農業委員会委員を4人とし、有城安子さん、萩尾高子さん、奥地義郎さん、石本祐也さんを推薦しました。
- 専決処分の承認について
紀宝町税条例の一部改正
- 専決処分の承認について
紀宝町国民健康保険税条例の一部改正
- 平成27年度一般会計補正予算

編集後記

今年は早くも五月に、台風が日本列島に接近しました。また梅雨に入ってから雨の日が続き、作物の育成を心配する声も聞かれます。近年、台風も勢力を増してきており、また真夏には酷暑となるような天候不順が続いています。これからの雨が多い季節、何事もなく過ごせるようにと願う一方、被害を最小限に抑えるような対策を講じていくことが重要だと感じます。

また本年は、地方創生元年と位置付けられ、各自治体が様々な取り組みをしています。紀宝町でも、プレミアム商品券をはじめ各種の事業が実施されています。来年には「伊勢志摩サミット」が開催されることも決まりました。これらの機会をうまく活用して、人口減少問題や地域活性化について、皆様とともに考え、実行に結びつけていくことができればと思います。（文責 浅田）

「議会だより」（第34号）

編集委員

大前 森重

塩野 真

浅田 和江